

教育目標の実現に向けた若狭高校の挑戦

令和元年9月24日
高校WG(第3回)
資料2



福井県立若狭高等学校 校長 中森 一郎

若狭高校は創立122年目

定時制普通科(4クラス)と
全日制4学科(26クラス)がある総合高校

5年前に
小浜水産高校と合併

小浜藩校の正門を移した順造門

常勤教員数は
約120人
生徒数は約900人

・若狭地域の中学生の2/3が入学

多様な生徒たち

定時制は単位制普通科

在籍者数 23名

少人数でのアットホームな授業

	男子	女子	計
1年	3	4	7
2年	3	2	5
3年	5	5	10
4年	1	0	1
計	12	11	23



ボランティア活動に向けた車椅子体験



定通総体バドミントン優勝 全国大会へ



全日制と合同開催の学校祭に向けた準備

国際探究科

普通科



医師を目指す生徒や、漁師を目指す生徒など、
多様な進路希望を持つ生徒たちが4学科(26クラス)に分かれて
学ぶ



理数探究科

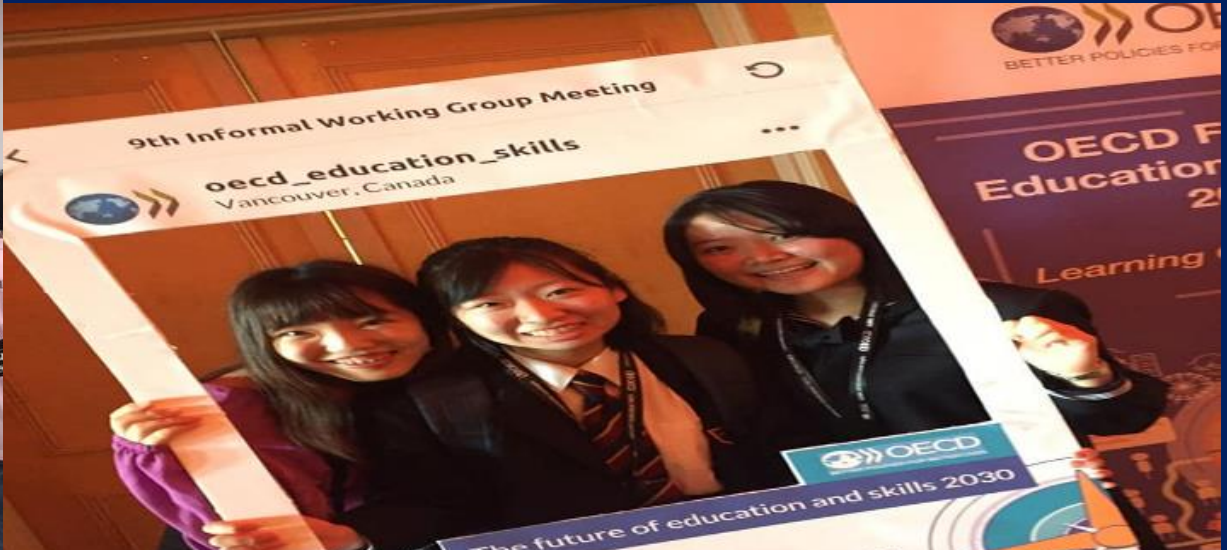


海洋科学科

地元イベントを盛り上げる歌を自作



全国高校生SBP交流フェア(文科省共催)にて入賞!
普通科における探究学習も少しずつ軌道に



カナダでのOECD Education 2030高校生会議に参加
2030年に向けた教育の在り方を各国生徒と議論



世界初 高校生が宇宙食を開発!
12年かけてJAXA認証 いよいよサバ缶が宇宙へ



Agency can be a small seed at the beginning, but it grows in time through various experiences.

Better health × Tourism

I learned about my hometown.

G20 教育セミナーにて探究学習の取組を発表



若狭高校の教育目標（1949年制定）

「異質のものに対する理解と寛容の精神」
を養い、**教養**豊かな社会人の育成を目指す

STEAMの**A**（Arts）をイメージ

目標の
実現に
向けて

全学科・全教科(探究を含む)の科目はもちろん、
学校行事や部活動などの特別活動を含む
全ての教育活動を**カリキュラム**としてデザインする

「子どもたちの成長と発達に必要な文化を組
織した、**全体的な計画**とそれに基づく**実践と
評価を統合した営み**」 田中耕治(2008)『教育評価』

3つのカリキュラム研究開発プロジェクトを同時進行

1 SSH（スーパーサイエンスハイスクール）

地域資源活用型探究学習による「地域と世界を結ぶ」

科学技術人材の育成を目指すカリキュラムの開発

普通科理系クラス 理数探究科・海洋科学科を中心とした取組

2 OECDイノベーションスクールネットワーク2.0 (OECD-ISN2.0)

OECDと文部科学省の協力のもと、

21世紀型に求められる資質・能力を涵養するための

新しい学びのモデル（カリキュラム、教育方法、

アセスメント、教員養成・現職教育 等）の開発

普通科文系クラス 国際探究科を中心とした取組

3 教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学びの

視点からの学習・指導方法の改善の推進研究 **(AI研究)**

平成30年度に文科省より2年間の指定を受けた研究開発事業

効果的な学習・指導方法と評価の開発

国語科・家庭科・地歴・公民科を中心とした取組

共通の目標

Society5.0
に向けて、
新たな時代にて
求められる
資質・能力を
育むための
カリキュラム
(特に授業)が
どうあるべきか、
組織的に研究
すること
特に、
海外との連携を
重視

教育目標の実現に向けた若狭高校の課題

1 普通科の特色づくり

入学時の目的意識が他学科と比べて希薄であり、
進路希望も多様な普通科生徒に有効なカリキュラムの開発

2 開かれた学校づくり

校外から多くの方を呼び込み、生徒を校外に飛び出させ、
校外の方をカリキュラムに巻き込んでいくシステムの開発

若狭高校 普通科のクラス編成

1年生

- ・入学時の習熟度に応じて、大きく2つに分ける。
(Standard 3クラス、Advance 2クラス)

- ・Standardクラスの数学は少人数に分け、習熟度の向上を図る

選択科目の数を増やすのではなく、
各教科の授業内容を、
目の前の生徒に応じた形で
工夫することで、
生徒の多様性に対応

2年生

- ・緩やかな進路希望と習熟度に応じて5クラスに生徒を振り分ける。

理系2クラス Standard 1 Advance 1

文系3クラス Standard 2 Advance 1 商業大学進学コースを設置

- ・Standardクラスの英語は少人数に分け、習熟度の向上を図る

3年生

- ・生徒の進路希望・習熟度の変化に応じ、再度5クラスに生徒を振り分ける。
枠組みは2年次の編成と同じ、学年全体で10人前後の入れ替えがある。

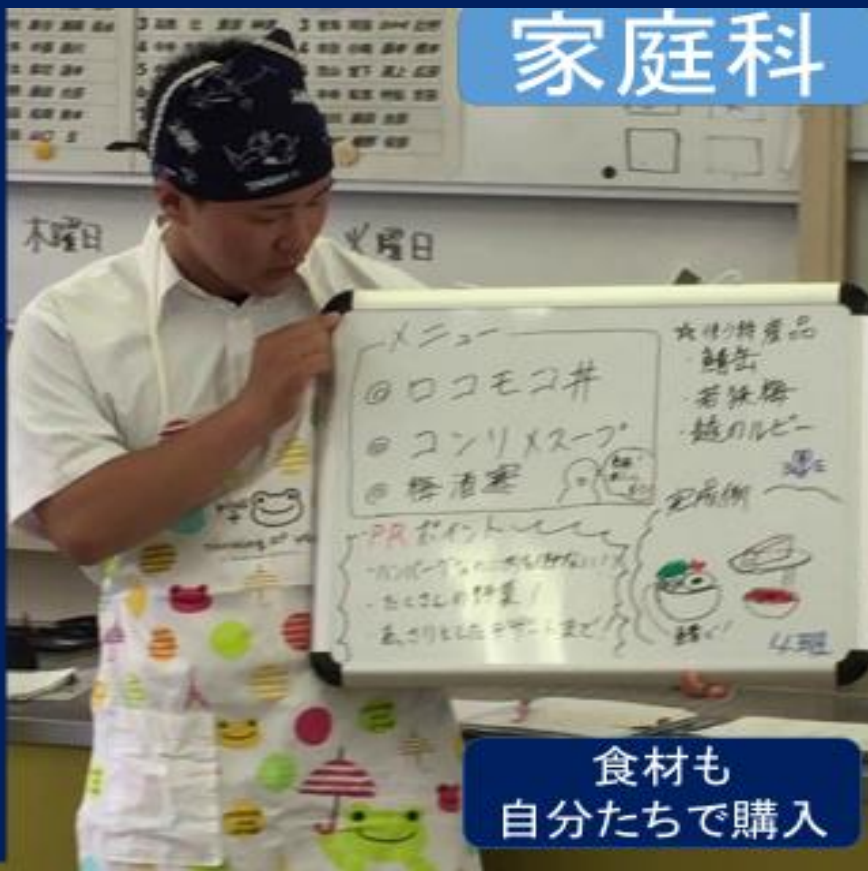
AL研究で得た知見より

普通科改革の本丸は、授業改革

「教科の本質」を意識し「目の前の生徒の状況」に応じて、「生きて働く学力」を育む授業を行うことが、普通科改革の本丸ではないか？

令和元年
6月13日

「家庭基礎」
調理実習にて
生徒自身が
考案した
「地域食材を
活かした
メニュー」
の発表場面



教科の本質をふまえた上で、
高次の学力を育むには、
どのような単元を
デザインすべきか。

- ① どんな力を目標として措定し、
- ② どんな教材・活動で培い、
- ③ どう評価するのか？

AL研究における3つの研究課題

研究2 学習活動の組織
(どんな活動デザインが高次の学力を育むのか)

思考から表現へ



話し合う
前後の活動を充実

認識から思考へ

表現から省察へ

研究1 単元レベルの目標のあり方(どんな力を育むか)

・国語科・家庭科

「主体的に学習に取り組む態度」に関する
単元レベルの目標のあり方とは？

・地理歴史科・公民科

「現代社会の諸課題を理解し、解決する方向性を見出す」ためには、単元レベルでどのような目標設定が必要か？

「目の前の生徒」の状況に応じた
「教科の本質」を目標設定にて重視

研究3 高次の能力の評価
(どのような評価を行うことが、
高次の能力の育成につながるのか？)

- 1 「目標に準拠した」
評価課題の策定
- 2 「目標に準拠した」
総括的な評価の設定
- 3 形成的な評価の充実
- 4 評価を社会に開く

若狭高校国語科は、授業で扱った教材を定期考査では扱わない。

総括的な評価 定期考査で書かせた意見文の評価基準表

	主張とその論拠 (1・2段落)	具体例 (3段落)	予想される反論 (4段落)	予想される反論への再反論 (5段落)	表現と形式 (全体)
4	自らの主張が明確に述べられており、それを支えるために説得力のある論拠が示されている。	意見の妥当性を保証する適切な具体例をわかりやすく提示している。	問題文に出てくる登場人物の考えをひきまえ、自分の意見に対する反論を複数の観点から取りあげた上で、それぞれについて丁寧にその論拠を説明している。	複数の観点からの反論に対して、自分の意見の方がより良いと言え論拠や、反対意見の問題点が書かれるなど、十分に説得力のある再反論が加えられている。	指定された形式の無視、指定された形式の無視、誤字脱字、主語述語の不一致等が一つもない。
3	自分の主張が明確に述べられており、それを支える論拠も提示されている。	意見の妥当性を保証する適切な具体例はあるが、少しわかりづらい。	問題文に出てくる登場人物の考えをひきまえ、自分の意見に対する反論を複数の観点から取りあげているが、それぞれが簡単に述べられているだけである、または、一つの観点からの反論を示した上で、丁寧にその論拠を説明している。	反論に対して、自分の意見の方がより良いと言える論拠や、反対意見の問題点が書かれるなど、十分に説得力のある再反論が加えられている。	指定された形式の無視、誤字脱字、主語述語の不一致等が一つしかない。
2	自分の主張は明確に述べられているが、その論拠が不十分である。	具体例が挙げられているが、説得力が不足している。	反論の数が示されているが、論拠はない。	再反論の論拠がほとんどない。	ミスが二つある。
1	自分の主張が明確に述べられていない。	具体例しか挙げられていない。	反論の数が示されていない。	再反論の論拠がほとんどない。	ミスが三つある。
0	主張がない。	具体例がない。	反論がない	再反論がない	ミスが四つ以上ある。

評価の改革が授業改革のポイント

初めて見る文章を読み、指定された条件に基づき意見文を書く、という課題に基づくパフォーマンス評価

とはいえ、目の前の生徒に応じて柔軟に、
目標・教材・活動・評価をデザインすることは
教師にとって、なかなか難しいタスク



学校全体で、
組織的に授業力の向上を図る

若手授業力向上塾

各教科の「教科会」を充実

公開研究授業 & 研究会

「若手授業力向上塾」発足の経緯

- ・2014年度、新採用教員が、一挙に5名！
- ・全日制教員の約1／3が20代となる。
- ・若手教員の授業力向上が急務に。

若手教員30名を**教科・校務分掌**、**性別が多様となるよう編成した**6グループに分け、それぞれに指導者を配置。指導者は、**教頭or部長**とする。

グループ No.	塾生	指導者	グループ No.	塾生	指導者
1	国語	生徒指導部長	4	社会	進路指導部長
1	水産		4	理科	
1	数学		4	英語	
1	英語		4	数学	
1	社会		5	数学	
2	社会	全日制教頭	5	理科	SSH研究部長
2	英語		5	芸術	
2	数学		5	英語	
2	理科	定時制教頭	6	社会	教務部長
3	数学		6	数学	
3	国語		6	理科	
3	社会		6	養護	
3	英語				

実施方法・内容

まず部長が授業

◆指導者の授業を参観

(まずベテランが恥をかく)

指導者が授業を行い、塾生はそれを参観。



◆ふり返りの会

参観授業日の放課後に

30分だけ、ふり返り会を実施

お菓子と飲み物は必須



ふりかえりの会

◆別日に、塾生の授業の参観

授業者も参観者も笑顔でふりかえり



保健の授業

若手塾生が順次授業を公開し、グループで参観。ふり返り会も実施

互見授業後のふりかえり

2年目・数学

新採用・英語

お菓子と
飲み物は必須

30代教員・地歴公民科
中学校から異動初年

50代・国語科
部長

塾生の感想

- 他教員の授業観や生徒との関係作りなどを知ることができ、自分のやる気が向上した。
- ベテランの先生の授業に対する思いや信念、技術などを学べた
- 自分の授業中とは異なる生徒の様子を見て、生徒の見方が変わった
- 普段、関わりが少ない先生方とも仲間意識が高まった。
- 他教科の人と授業を見たり、研究会をすることで、教科の内容以外のところで、教科を超えて考えなければいけないことなどが見えてきた。

指導者の感想

- 若手の先生が何を難しいと感じ、何ができて何ができないのかよくわかった。
- 若手の先生方の様々な工夫が大いに参考になった。

塾生は
もちろん、
指導者にも、
得るものが
あった！

塾生・指導者が指摘した今後の課題

- ▲継続する手立て、全体で共有する場があるとよい
- ▲時間割変更、見てもらうための授業準備、ふり返り会の調整などが負担
- ▲もっと気軽に見合える雰囲気、構造にして回数を増やすべき
- ▲若手とベテランだけではなく、全教員でグループを作れないか？

若手以外にも参加希望者を募る。
今年度は、全教員(実習助手を含む)での
グループ化にチャレンジ

若手授業力向上塾

各教科の「教科会」を充実

公開研究授業 & 研究会



学校全体で、 組織的に授業力の向上を図る

ただし、授業力は急速に向上するわけではない
働き方改革をふまえ、無理せず、
持続可能な取組とすることが重要。

もちろん、全ての学年学科の授業を充実させるが、特に
多様な普通科生徒の状況に応じた授業の実施を目指す

教育目標の実現に向けた若狭高校の課題

2 開かれた学校づくり

校外から多くの方を呼び込み、生徒を校外に飛び出させ、
校外の方をカリキュラムに巻き込んでいくシステムの開発

同窓生・保護者・地域の老人・地域の行政官・大学研究者・民間企業の方など、
校外のあらゆる方々を、カリキュラムに巻き込んでいく！



カリキュラムに巻き込む

教科でも



国語科「短歌を創ろう」
地域の短歌同人の方6名を招き、
生徒の短歌を直接指導頂く



授業参観に来た、大学研究者や
他校の先生方に自作の短歌を披露

探究でも



マイクロプラスチック汚染に関する
国際研究フォーラムを本校が主催！
台湾・アメリカの生徒が参加



2018年度は、フィリピン・台湾の高校
と研究連携協定を締結

行事でも



学校祭に地域の方々が数多く来て下さることを狙って、
クラス代表生徒が市内を仮装で練り歩き、市民にPR！



学校祭に訪れた地域の小学生に、
スタンプラリーの説明をする定時制生徒

若狭高校の教育目標
「異質のものに対する
理解と寛容の精神」を養い、
教養豊かな社会人の育成

学習指導要領 総合的な探究の時間の目標
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習
を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、
よりよく課題を発見し解決していくための資
質・能力を育成する

教科「探究」(3年間)を通して
若狭高校が育成したい能力

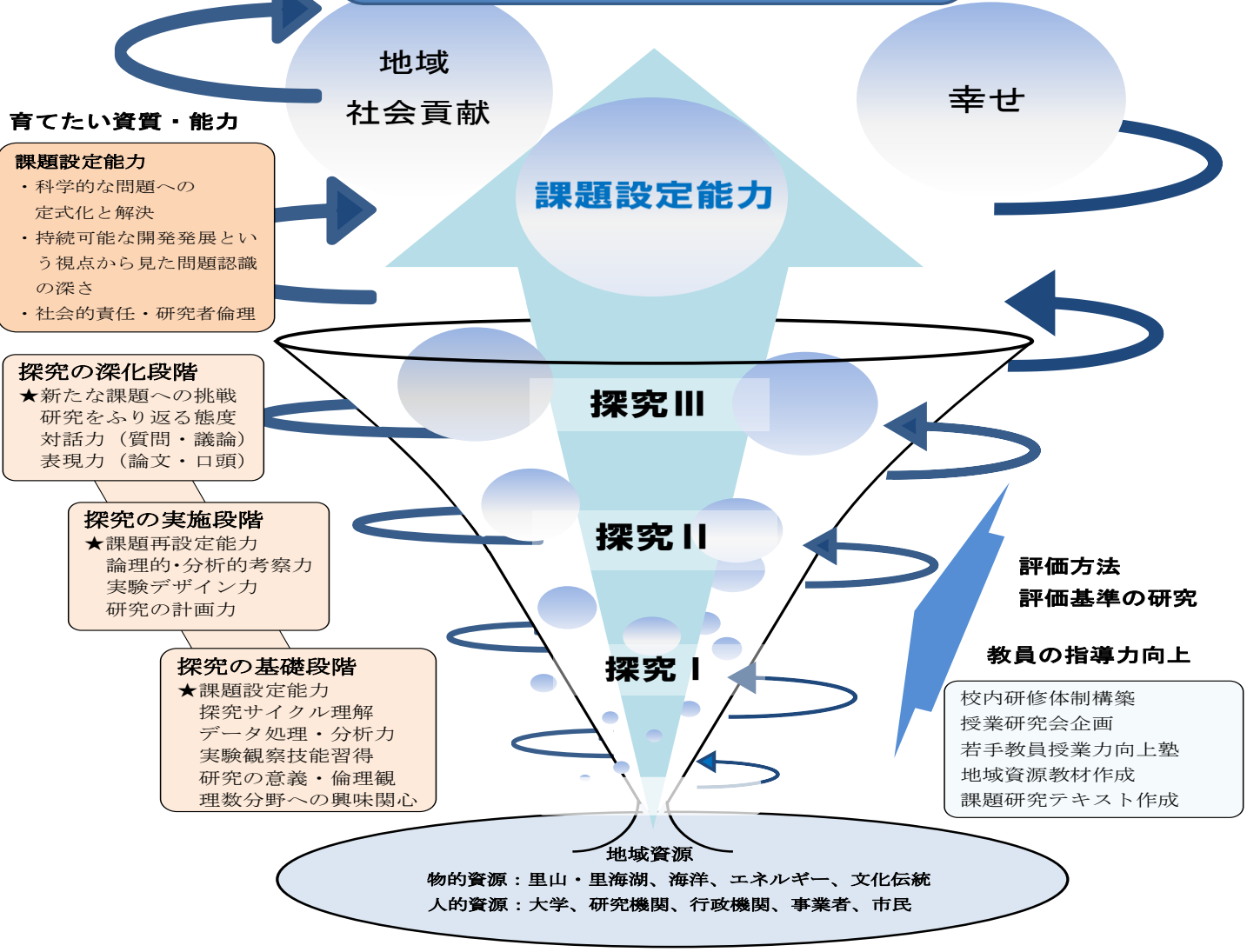
里海湖・里山の豊かな自然環境・エネルギー研究施設等の
多様な地域資源から課題を設定する能力。
さらには、地域の行政や住民組織・研究者・他国の人々等、
様々な背景を持つ他者と協働しながら
設定した課題を粘り強く解決する能力

科目・題材に落とし込んで学習目標化する。



地域資源を活用した探究学習による、課題設定能力の育成

学校設定教科「探究」により
課題設定能力を育てる。



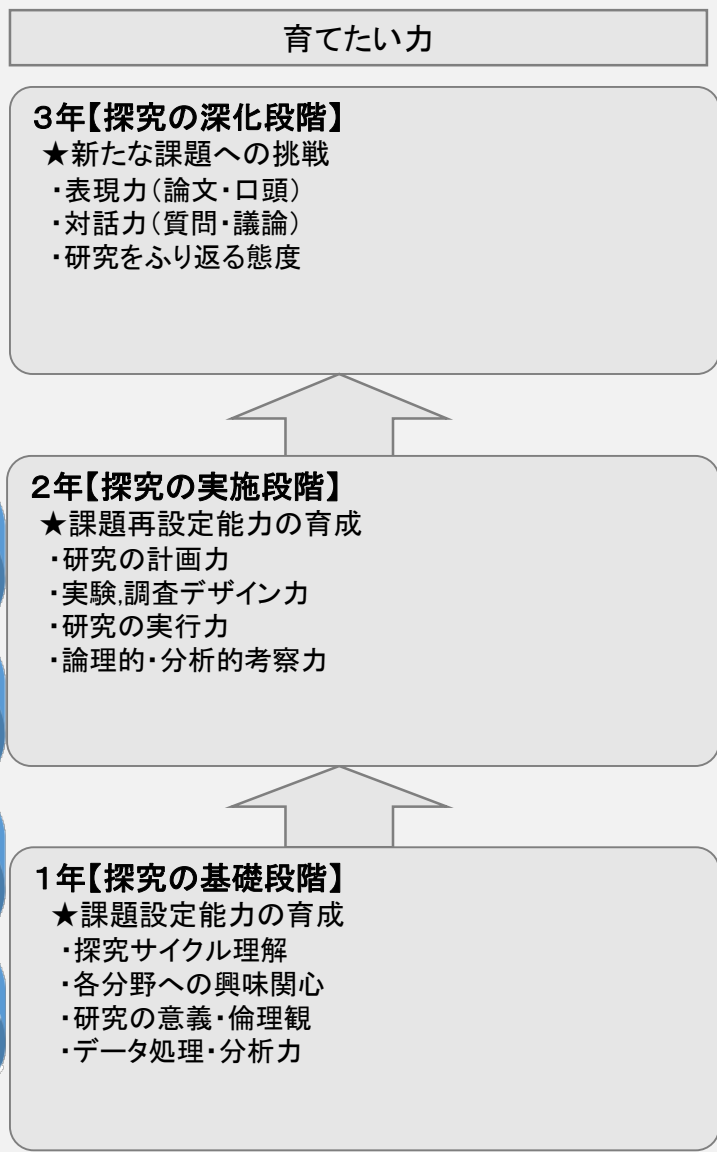
課題設定能力

事象の背景や現状を分析し、科学的根拠をもって仮説を立て、自らが発展的、独自性のある課題を設定する能力

課題設定能力に関する評価の5観点

- ①なぜその課題を設定したのか
- ②課題は科学的に解決可能か
- ③課題をどれくらい深く理解しているか
- ④課題は持続可能な開発に役立つものか
- ⑤責任のある主体性を持って、取り組もうとしているか

◆若狭高校では4学科において、12科目の学校設定科目に基づき探究的に学びます。



若狭高校生徒の通学区域のほとんどを占める、 若狭町・小浜市・おおい町・高浜町の職員さんとの 定期的な合同ミーティング(今年で5年目)

若狭高校 担当教員

採用2年目

4市町 代表職員

SSH・研究部
副部長

新採用1年目

4つの市町と連携する



若狭高校生の地域課題発見・解決 学習を、サポートくださいますか



2016年2月 若狭高校にて、課題研究発表会



2016年2月 若狭町熊川葛スイーツコンテスト金賞

若狭高校から、各市町の皆様へのお願い

・地域に住む**大人と高校生**が、地域のことを**考え合う**学習のサポートを！！

- ★講演会・ワークショップへの職員等の派遣
(各自治体の現状[たとえば各市町の医療や福祉の課題、町作りの課題など]に関する情報提供)
- ★各自治体と若狭高校生徒が協働するイベントの実施
(大人と高校生が「ごちゃませ」でイベントの企画・立案・運営等を行う)
- ★首長・議会への政策提案会・市民対象の研究発表会の実施
(学習成果を「政策決定権に影響力を持つ方」、「市民・町民のみなさん」に発表)
- ★商品開発・観光資源開発・観光PRに関する機会の提供
(高校生が商品開発や観光資源開発を行ったり、広報紙・市のHP・広報番組を作成したり、東京で商品・観光資源のPRを行う)

若狭高校生は、地域の課題発見・ 学習を通してどう変わるのか

2016年度 4市町への 依頼資料

昨年度の生徒が設定した研究課題例

若狭高校の危機意識

- ・各教科学習等で学んだことが、実社会と関連づけて考えられない。
- ・自分自身で課題を発見し、解決する力に乏しい。
- ・若狭地域のことを知らないまま、都会の大学に進学し、若狭を捨てる

若狭地域の課題発見・解決学習

期待される変化

- ・これまで学んだ知識や技術を、実社会の課題発見・解決に向けて総動員した上で、有機的に再組織し発揮することの有用性を実感する。学ぶ価値を再発見し、主体的に学習に取り組む。
- ・様々な大人との協働を通して、実践的な課題発見・解決能力を培う。
- ・地域の魅力や課題を知ることにより、都会に出ても帰ってくる、帰ってこなくても常に気にかける。

- ・小浜市における、「ふるさと納税のお返し品目」は、何が最も効果的か？
- ・若狭塗り箸の箸とぎ体験を外国人観光客に分かりやすく伝えるには？
- ・地域の魅力をSNSを用いて、効果的に発信するには？
- ・農村の鳥獣被害を食い止めるには？
- ・鹿肉を有効活用するには？
- ・葛の製造工程と葛まんじゅうの水の違いによる食味
- ・三方湖の生態系保全に向けて～ブルーギルの生態調査～
- ・おおい町の人口減少を食い止めるには
- ・舞若道と嶺南の地方創生
- ・新幹線若狭ルートでの若狭地方における効果
- ・なぜ、「若州良民伝」が小浜藩によって編纂されたのか？
- ・若狭町の将来と子どもの地域愛着
- ・小浜地域の町屋における免震構造の可能性
- ・気候復元 ～江戸小氷期の若狭～

若狭地域は、文系・理系を問わず
学術研究に値する資源が
豊富に存在

若狭地域の地域資源

若狭高校における
課題探求学習のテーマ



それぞれの生徒が、
自分の関心あるテーマについて、
研究を深めていく

若狭の地域資源について
深く学び、考えることが、
地域理解・地域創生・
キャリア意識の醸成などにつながる

各自治体に
ご協力いただける
ことによって、

大人と共に社会課題を解決していくことを通して、
「生きて働く問題解決能力」を育成できる。

地域をより深く知り、地域についての考えを深めることを通して、
地域を出たとしても、地域のことを愛し続ける気持ちを育てられる。

地域で働く方々の職業観・人生観を伺うことを通して、
キャリアに関する意識を高められる。

地域社会に貢献する生徒を、各自治体と共に育てたい



各市町と連携を深めることが、
生徒のより「豊かで深い学び」につながる

若狭高校生の地域課題発見・解決
学習を、サポートくださいませ！

高校生の地域課題発見・解決への取組が、
地方創生・人口減少対策にも大きく寄与！！

市町職員の方々には定期的に訪問頂き学習をサポートして頂く



小浜市職員の方

普通科2年「探究Ⅱ」にて、
小浜市の地域活性化についての
課題を研究しているチーム

地域の方・保護者・
同窓会等の方々を

市町職員の方々を

①問題状況を
探索する

②解決すべき
明確な「問い」
を立てる

どのタイミングで、
どなたを呼び込むか！！

各局面に適した方々を
呼び込みながら、
探究のサイクルを回す

③「問い」への
「答え」を仮説
として持つ

④「問い」を解
決する方法を
計画する

⑥「答え」を出
し、ふりかえる

⑤「問い」を解
決する方法を
実行する



年稿研究 立命館大学 中川教授



福井大学安濃田教授 SSH運営指導委員長



京都大学 田中准教授
マイクロプラスチック研究の第一人者

大学生、大学院生を呼び込む



探究の初期段階に効果あり



民間企業の方を



各局面に適した方々を呼び込みながら、
探究のサイクルを回す

①問題状況を
探索する

②解決すべき
明確な「問い」
を立てる

⑥「答え」を出し、
ふりかえる



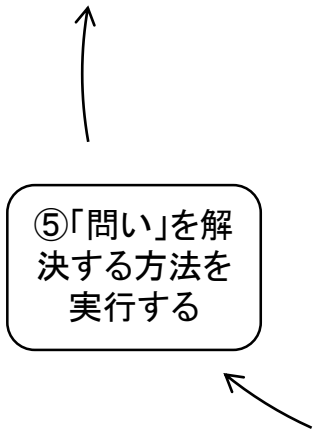
教育学研究者の方々を



④「問い」を解
決する方法を
計画する

③「問い」への
「答え」を仮説
として持つ

⑤「問い」を解
決する方法を
実行する



でも、呼び込むだけでは、 生徒はおもしろくない。

地域へ飛び出す



おおい町 地域政策コンテスト審査員として、
おおい町長とワンショット

地域へ飛び出す



田鳥地区の地域住民グループとの
コラボ事業に参画

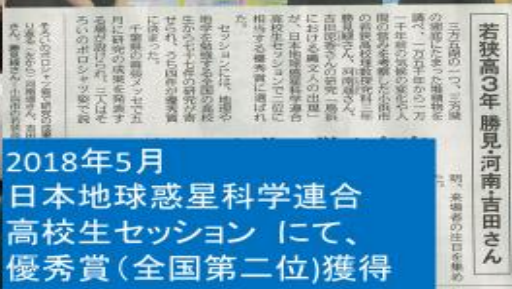
世界へ飛び出す！



2019年3月 フィリピンDLSL高にて、課題研究についての発表



三方湖研究で全国優秀賞



2018年5月
日本地球惑星科学連合
高校生セッションにて、
優秀賞(全国第二位)獲得



2019年2月10日マイプロジェクトアワードに、希望者32人が参加、
2組が決勝進出！



生徒を学校から飛び出させ、校外の方々を巻き込む

定時制生徒も外に飛び出す！！



託児所での保育体験



社会性を育み、自尊感情を培う
貴重な社会体験



福祉施設入所者の方の
買い物をお手伝い



青春感満載、若狭高生がテーマ曲 小浜「海のステージ」盛り上げへ

2019年5月8日 午前7時00分

シェア LINEで送る



拡大する

棚田を背景にテーマソングのプロモーション映像を撮影する杉本信昭監督（右）と照れくさそうに笑う木崎誠太郎さん= 3月23日、福井県小浜市田鳥

福井県立若狭高校3年の木崎誠太郎さん（17）が、福井県小浜市の田鳥集落一帯で5月24日から10日間開かれるイベント「内外海田鳥 海のステージ」のテーマ曲を作った。住民やイベントに訪れる人の心情を歌詞にしポップな曲調に仕上げた。同イベントのフェイスブックで公開し「海のステージに来てみたいと思うきっかけになれば」と期待を込める。6月1日には発表ライブを予定している。

地域の活動に参画し、
地域の方を
課題研究活動に
巻き込んでいく



海外の方々も巻き込む シンガポールから来校



海洋汚染小浜で研究

連携のシンガポール生徒

若狭高生と微小プラ採取



若狭高生と「マイクロプラスチックの海洋汚染」について協働研究しているシンガポールの生徒が来日し26日、小浜市の同校で生徒と交流した。マイクロプラスチックの採取や魚の調理と一緒に取り組んだほか、ポスター発表を通して互いの研究に理解を深めた。

訪れたのは、シンガポールのテマセックジュニアアカレッジ(TJC)の生徒と教員24人。生徒は日本の高校1年生に当たる学年。

このほか、両校が研究内容を発表し、若狭地域とシンガポールのプラスチック汚染の状況を比較した。

若狭高海洋科学科3年の福智隆史さんは「採取方法に興味を持ってくれており、反応が積極的だった」と話した。TJCの女子生徒16は「採取に使う工夫が素晴らしい」と話した。

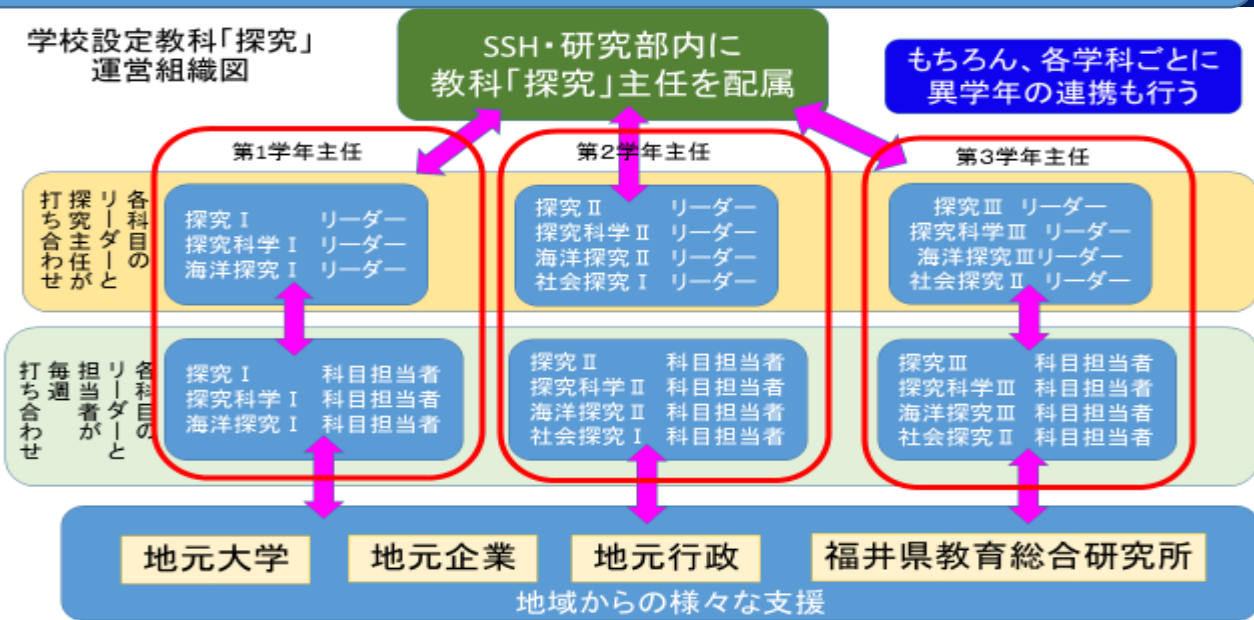
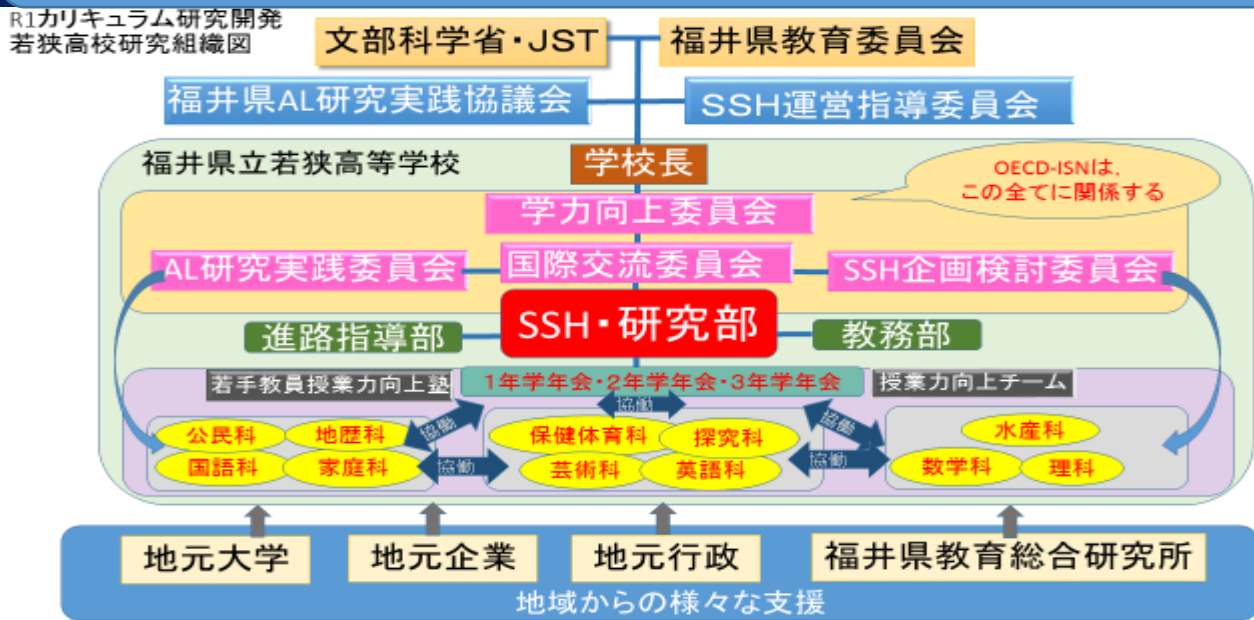
(小柳慶祥)

とはいえ、校外の方を呼び込み、生徒を校外に飛び出させた上で、校外の方をカリキュラムに巻き込もうと思うと、一人の教師の力では不可能。

組織的な取組を行うことで、持続可能なシステムに

校長が異動しても、核となる教員が異動しても持続可能な組織・システムを構築する

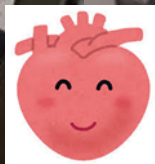
校外の方と連携する場合、連絡調整・依頼文・謝金準備等の手続きに多くの時間と労力が割かれる。本校では事務員をSSH予算で雇用し、教員の事務作業負担を軽減。1日3時間(年間約60万)の雇用でも劇的に負担が減る。



SSH研究部はカリキュラムの開発・改善を担当する。各学科の特色づくりや、授業改善、学校設定教科「探究」の授業デザイン、開かれた学校づくりなど、若狭高校が抱える課題に中心的に取り組む部署(8名の教諭+理科実習助手+契約事務員)



教科「探究」における
各科目のリーダー



各探究科目のリーダーが集まった会議での笑顔

SSH・研究部は、心臓の役割を果たす。
教師の知性と省察を循環させる機関であると共に、
教師の情熱を生み出し、教師間の感情的な実践
の共有を促進する精神としての心臓の役割も担う

何かを決める、とか、決まっていること
を伝達する、という会議もあって良いの
ですが、
聴き合う・訊き合う、
笑いがある会になるといいなあ・・・

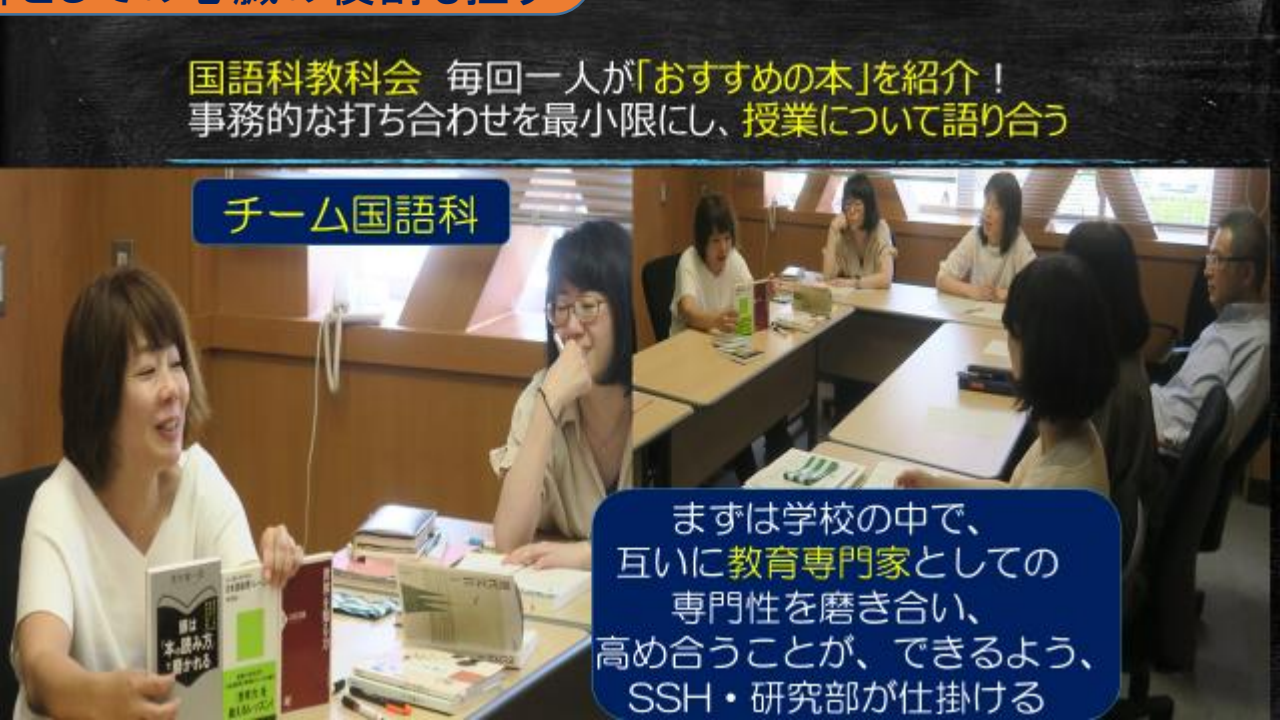
みんな苦勞しているから、愚痴もいっぱい・・・
でも、「うちの生徒たちを育てたい」という思いは共通！
お互いの苦勞を分かち合い、
聴き合うことで、ヒントやアイデアも生まれてくる



教員コミュニティは自動的に育つわけではない

私たちSSH・研究部が、
教員コミュニティを育てる

香港の高校とスカイプミーティング時の様子



国語科教科会 毎回一人が「おすすめの本」を紹介！
事務的な打ち合わせを最小限にし、授業について語り合う

チーム国語科

まずは学校の中で、
互いに教育専門家としての
専門性を磨き合い、
高め合うことが、できるよう、
SSH・研究部が仕掛ける

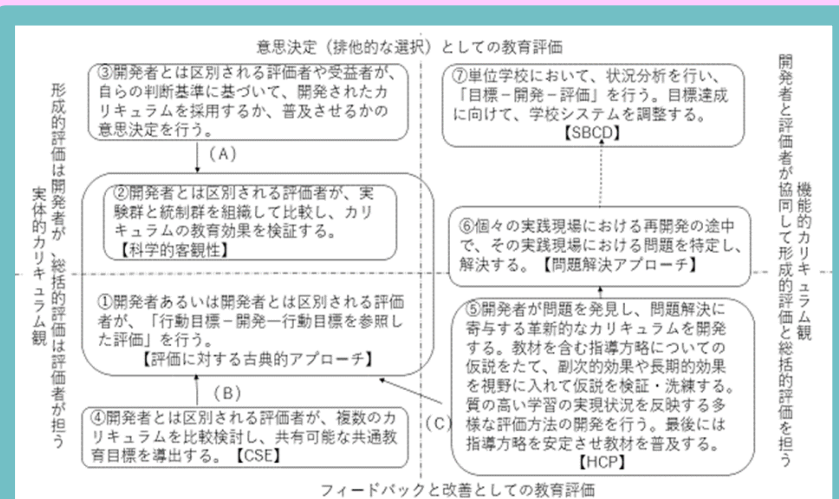
データに基づくカリキュラム評価を開始

質的アプローチ

- 教師 & 生徒の定期的なふりかえりの蓄積と分析(テキストデータ分析等)
- 卒業生へのインタビューの蓄積と分析

量的アプローチ

- 本校独自の質問紙を作成し、収集したデータに対し
 - 記述統計(現状を明らかにする)
 - クラスタ分析(タイプ分けする)
 - 回帰分析(因果関係を明らかにする)
 - 共分散構造分析(モデルをつくる)



質的・量的 両面からアプローチ
仮説・検証型ではなく、仮説生成型アプローチ

質的アプローチ

データに基づく カリキュラム評価

量的アプローチ

9月30日現在、海外との共同研究・研究交流を行う際に、大事なことは何だと考えますか？

積極的なコミュニケーション
伝えようとする気持ち
笑顔でいること

本日10月1日の交流を終えて海外との共同研究・研究交流を行う際に、大事なことは何だと考えますか？

*世界のマイクロプラスチックの研究をしている人とデータを共有すること。
*同じ目的を持ってマイクロプラスチックの問題に取り組むこと。
*考えるだけでなく、行動を起こすこと。

そう考える理由は？その考えを導き出した体験を詳しく教えてくださいませ。

*今日の会議でウェブサイトで共有することでいろんな人が見れるという意見があったから。
*いろんなところで、いろんな方向から問題を解決しようとしているからこそ、目的は1つあった方がまよまよと思わないから。
*今日考えた、社会へのメッセージも実際にやらないと意味がないと思っていて、日本に帰ったら実際に行動を起こしたいと思っているから。

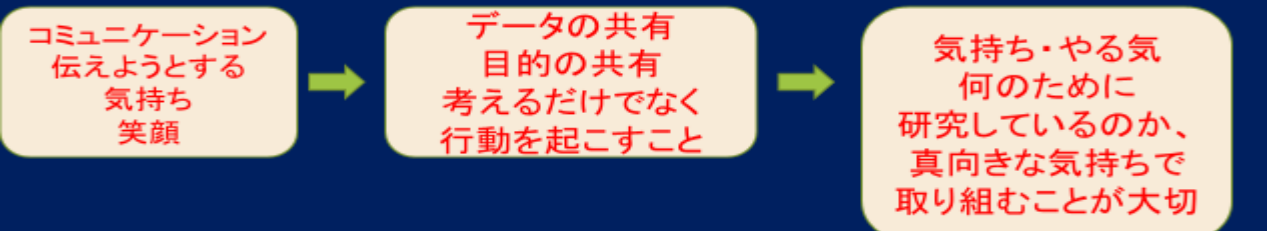
5日間の台湾訪問をふりかえって、海外との共同研究・研究交流を行う際に、大事なことは何だと考えますか？

気持ち、やる気。

そう考える理由は？その考えを導き出した体験を詳しく教えてくださいませ。

自分が何のために研究しているのか、海外と連携しているのか、そのデータをシェアしようとしているのかをしっかりと考え、前向きな気持ちで取り組むことが大切だと思ったから。

理数探究科
2年女子
の変容



海外との共同研究・研究交流を行う際に
大事なことは何か？なぜそう思うのか。

台湾生徒
の変容

9/30

培養自己的世界観、在自己生存的地方關心地球上的人事物、知曉周遭都正在發生些什麼、盡一份自己微小的心力。
自分自身の世界観を育て、自分が住んでいる地球上の人々を気にかけて、自分の周りで何が起きているかを知り、自分ができる小さな努力を行うこと。

10/1

經驗是許多研究裡不可或缺的因素，大家透過交流來互相汲取、吸收做事的方法，是一件再好不過的事了！
経験は多くの研究において不可欠な要素です。誰もが互いに学び合い、コミュニケーションを通じて物事を解決する方法を吸収することは、良いことです！

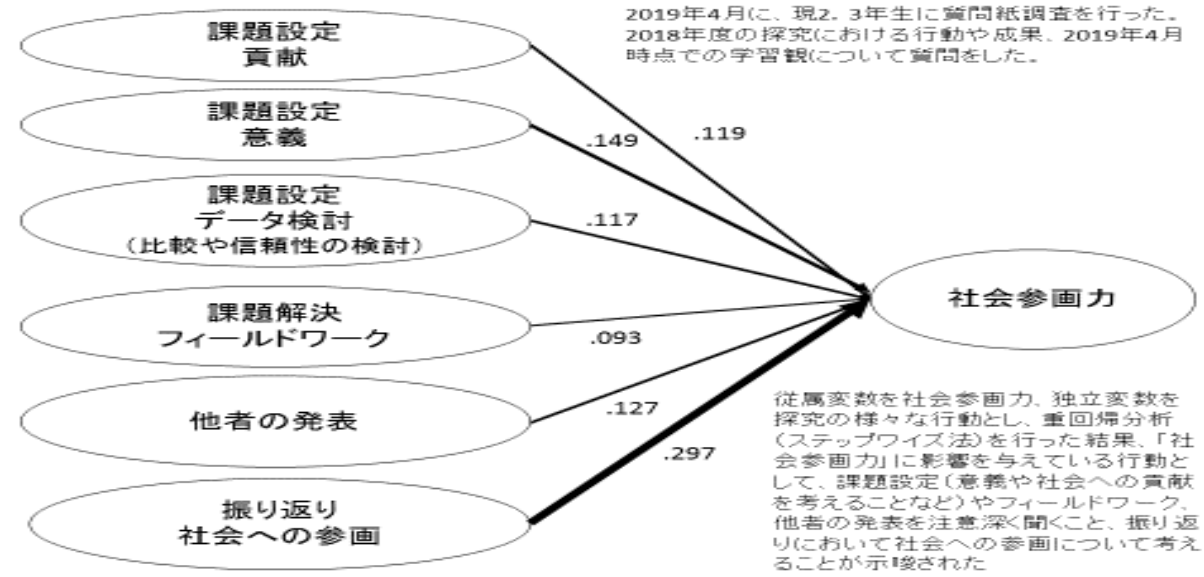
10/2

大家的計畫看似不盡相同，但追本溯源後大家的初衷都與海洋保育息息相關，期望大家在交流的同時都帶著一顆愛護海洋的心。
それぞれの計画は違っていますが、元をたどると、皆の本来的意思是海洋安全と密接に関係しています。誰もが交流と共に、海洋について関心を持ってくれることを願っています。

自分ができていることを行う

交流相手とのコミュニケーション

世界中の人々に
関心を持って欲しい



	課題設定: 自己設定	課題設定: 意義	課題設定: 貢献
課題設定: 自己設定	1	.511**	.390**
課題設定: 意義	.511**	1	.524**
課題設定: 貢献	.390**	.524**	1

課題に、自身の思い、社会への貢献を反映させていくということには
相関が見られる

探究の取り組みにおいては、課題設定の際に、社会貢献や意義・自身のやりたいこと
のどちらかを優先して決めていくというよりも、共に意識しながら設定している
様子が想像できる

横浜国立大学 脇本准教授
内田洋行との共同研究

2019年春、AO・推薦を利用した大学入試の結果(現役生のみ)

国際探究科

筑波大

横浜市大

静岡大、等

国公立合格率

100%

私立も

立命・関学に

合格

理数探究科

京都大

神戸大

金沢大

横浜国立大

岐阜大

等

難関大に

多数合格

普通科

富山(経済・薬)

京都教育大

千葉大

敦賀市看護大

早稲田大、

同志社大

明治大・APU

等に

多数合格

海洋科学科

北九州市大

(地域創生学群)

福井県立大

(海洋生物資源3名、
看護福祉1名)

名桜大(国際)

公立鳥取

環境大、

龍谷大

等に

多数合格